

令和二年度  
私たちの振り返り

社会福祉法人可愛福祉会  
可愛保育園

## I 保育の計画性

1.
  - ①園の保育理念や保育方針を理解し共感している。
  - ②園の方針、園長の考えについて園長や副園長・主任保育士と話し合い保護者に説明できる。
2.
  - ①保育所保育指針を理解し、子どもの姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる。
3.
  - ①園の全体的な計画は、保育所保育指針をふまえ、園の理念・方針に従い編成している。
  - ②1年間の子どもの成長を振り返り、全体的な計画を評価している。
  - ③園の全体的な計画は、社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている。
4.
  - ①保育計画は、子どもの興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している。
  - ②行事は、子どもの生活上の意義を十分検討した上で、保育計画に組み込んでいる。
5.
  - ①保育計画に基づいて、子どもが主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている。
  - ②楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように玩具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている。
  - ③子どもの活動がより豊かになるように子どもの発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている。
  - ④幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている。
  - ⑤異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている。
6.
  - ①自分の保育と評価・反省について、次の保育と計画に生かせるように行っている。
  - ②お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、子どもの生活と自らの保育につなげている。

## II 保育の在り方、子どもへの対応

1.
  - ①朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている。
  - ②体調が悪そうな時は、静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している。

- ③保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している。
- ④体重・身長などの計測を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮している。

2.

- ①一人ひとりの子どもの発達の姿や課題について見通しをもって理解し、保育している。

3.

- ①禁止、脅し、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている。
- ②乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている。
- ③抱っこする（移動する）、鼻水をふく、着脱や食事などの際は、必ず子どもに今から行うことを子どもの目を見て、一声かけてから丁寧に行っている。
- ④子どもの体にふれる時や、子どもの手や服を引くなどせず、丁寧に行っている。
- ⑤子どもに何か伝えたいときは、禁止用語のみを伝えるのではなく、子どもがわかるように丁寧なことばで丁寧に伝えている。

4.

- ①保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をしている。
- ②指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって工夫し対応するようにしている。
- ③他クラスや異年齢児との触れ合う機会がもてるようにさまざまな工夫、保育の形態に配慮している。

### Ⅲ 保育の在り方、未満児への対応

1.

- ①家庭と連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている。
- ②睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼顔・吸色・嘔吐・汗）、およびSIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックを記録している。
- ③一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄リズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している。

2.

A [心のよりどころとして]

- ①子どもの話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いている。
- ②子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている。
- ③子どもの話をよく聞くようにしている。

B [あそびの援助者として]

①一人ひとりの発達を把握し、それぞれの子どもの発達に合ったおもちゃ、季節や子どもの興味関心にあった絵本をおいてある。

C [その他]

①支援児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている。

3.

①落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、子どもが人との関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている。

②泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている。

③子どもの心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている。

④自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取り、安心感と自己肯定感がもてるような言葉かけをしている。

#### IV 保育の在り方、幼児への対応

1.

①幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している。

②一人の幼児をじっくりと見ながら、見えないところで活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる。

2.

A [心のよりどころとして]

①幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている。

②幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている。

③幼児の話をよく聞くようにしている。

④“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている。

B [あそび・活動の援助者として]

①幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している。

②一人ひとりの発達を把握し、それぞれの子どもの発達に合ったおもちゃ、季節や子どもの興味関心にあった絵本をおいてある。

③幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている。

C [その他]

①支援児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている。

## V 保育者としての資質や能力・良識・適性

1.

### A〔専門家としての能力〕

- ①保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている。
- ②保護者に対し、子どものことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。
- ③保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている。
- ④保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している。

### B〔良識とマナー〕

- ①子どもや保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている。
- ②朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している。
- ③園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない。
- ④服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている。

### C〔義務〕

- ①教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している。
- ②締切りのある仕事や提出物の締切日、会議の打ち合わせの時間をきちんと守っている。

2.

- ①他者の意見を素直な気持ちで聞いたり、相手の意見を尊重し、自分の意見を述べるができる。
- ②こどものこと、クラスの出来事などで必要なことはクラスリーダーや園長や主任に報告、連絡、相談している。
- ③当番や役割による仕事を理解し確実にしている。
- ④上司の指示、命令には責任をもって実行している。

3.

- ①子どもや教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている。
- ②社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている。

## VI 保護者への対応・守秘義務

1.

- ①一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している。
- ②クラスだよりなどで保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている。
- ③個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳などを使って伝え合っている。
- ④保育参加や保護者との会話を通して、子どもについて保育や家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている。

- ⑤保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている。
- ⑥保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
- ⑦子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている。

2.

- ①保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり断ったり無視したりしないで相談をしている。
- ②必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる。

3.

- ①職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。
- ②秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない。
- ③秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している。
- ④秘密情報の帰属は園または法人にあることを認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている。
- ⑤秘密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している。
- ⑥秘密情報について、新たに知り得たことについては直ちに園長等に報告している。

4.

- ①正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。
- ②親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない。
- ③電話では、簡潔に要領よく対話することを心がけている。
- ④保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している。
- ⑤長期の欠席や入院等の場合には、園児の様子を確認し、園やクラスの様子を伝えたりしている。
- ⑥保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない。

5.

- ①保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長等に連絡、報告、相談している。

## VII 地域の自然や社会とのかかわり

1.

- ①地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。
- ②地域の自然や機関を保育計画の中で位置づけて活用している。
- ③子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談及び連絡先を把握している。
- ④実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している。

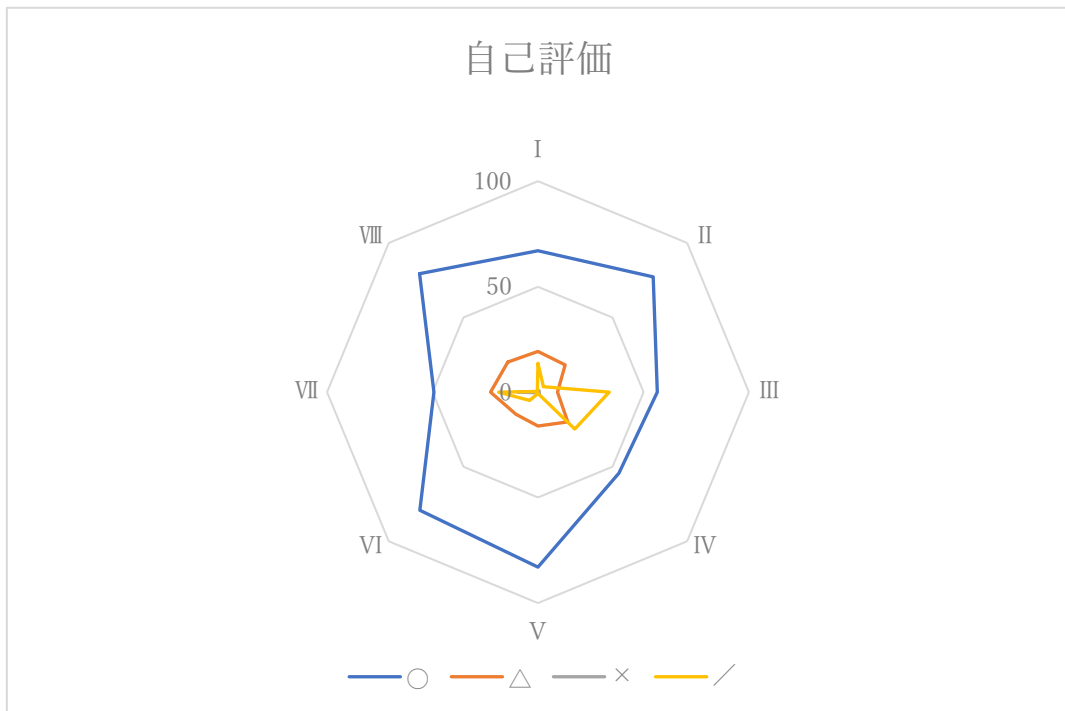
- ⑤中高生の保育体験、ボランティアを受入れるときは、その目的や意義を理解・確認している。
- 2.
- ①園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している。
- ②小学校の教育内容について理解するよう努めている。
- ③小学生が遊びにくることの出来る場（行事等を含む）を設けている。
- ④卒園した子どもの情報を得るよう努めている。
- ⑤小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている。
- 3.
- ①高齢者との交流のために、デイサービス交流・行事への参加の呼びかけなど積極的に行っている。

## VIII 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

- 1.
- ①研修会や研究会には自己課題・学ぶ目的をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている。
- ②研修に参加したあとは、学んだ内容を同僚に伝え、自園の保育に合わせて実践している。
- ③自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている。
- 2.
- ①園の玩具や教材・園庭遊具について、その特徴や基本的な使い方を知っている。
- ②園の玩具や教材・園庭遊具について、どんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる。
- 3.
- ①園舎の構造や保育室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解している。
- ②園庭や砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かしている。
- 4.
- ①子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている。
- ②アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている。
- ③保幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている。
- ④子どもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている。
- 5.
- ①保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある。

## 集計結果

	出来ている	出来ているときと出来 ていないときがある	出来ていない	対象ではない
I	67	19.3	0	13.7
II	77.3	18.2	0.81	3.64
III	56.6	9.21	0.44	33.8
IV	54.2	20	1.05	24.7
V	83	16.1	0.33	0.66
VI	79.2	14.8	0.48	5.5
VII	49.3	22.5	9.57	18.7
VIII	79.4	20.2	0	0.44





※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。

・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				職員間の意思の疎通や会議等を通じ理解に努めている
	(2)目標は各施設や地域の特色を生かしているか		○			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育所保育指針等に沿い計画を立て実行している
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			良いと思われる
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			乳幼児の年間計画に沿い過去の計画にとられず適切な業務量を考え実行できている
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			毎年の役割分担や負担等の反省にたち各自理解して取り組んでいると思う
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				おおむね適切に運営できている
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				各年齢別の目標設定に即して概ね適正にできている
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			開園当初よりインフル等の感染予防の機器を配備し、感染症対策は留意していて、保健・安全面に留意できていた
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
研究・研修	園内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			日本保育協会・キャリアパス等などの研修機会を利用し、しっかり現場に還元できたと思います
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せて修修しているか。	○				
		(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	○				概ね適切に対応出来ている	
	(2)公文書收受 発送 処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			適切に対応できている	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保		○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				不審者等に対しては警察・地域情報を活用し、職員等と連携出来ている	
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			各種会計は適切に運用できている	
開かれた園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			可愛福祉会の姉妹園間で園児・職員間の交流を行い、地域の小学校・幼稚園とも交流できている
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている		○			
		(3)指導者どうしが打合せや事前研修・合同研修たを行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
開 か れ た 園 づ く り	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、家庭と参観日等を情報交換などを交え設定しているか。		○			地域自治会の行事等を通して交流ができている	
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○				
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○				
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○				
	子 育 て 支 援		(1)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			保護者と園児送迎時に担任などが受けている。 児童相談所などからの情報も活用している
			(2)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
			(3)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信		(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で情報施設の情報を発信しているか。		○			園だより・園HPを通して発信、掲示板も活用している
			(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外 部 評 価		(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			地域や保護者のご意見反映し活用している
			(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。					